

平成 30 年 11 月 9 日
教育委員会学務課

(仮称) 高円寺学園通学区域に関する意見・要望のまとめについて

1 30 年度の説明会等の経過

平成 30 年 7 月 19 日	新しい学校づくり懇談会で指定通学区域素案を説明	
7 月 23 日	高円寺中央地区町連説明	
8 月 6 日	高円寺北地区町連説明	
9 月 15 日	① 杉四・杉八小保護者説明会	(20 人出席)
	② 就学前教育・保育施設保護者説明会	(39 人出席)
	③ 杉三小保護者説明会	(11 人出席)

2 説明会等で出された主な意見・要望について

小中一貫校について

- ① 小中一貫校の整合性を最優先する区の方ではなく、住民の立場にたって考えてほしい。(30. 7. 19 懇談会)
- ② 小中一貫校を想定して入学している児童の中学進学をそのまま認めてほしい。(30. 9. 15 説明会)
- ③ 小中一貫校の学区域は、はじめからきっちり決めない方が、メリットが大きい。(30. 7. 19 懇談会)
- ④ 杉三小や杉十小とも小中連携を実施して、(仮称)高円寺学園に入れるようにしてほしい。(30. 7. 19 懇談会)

指定校変更・特例措置関係の要望について

- ① 現在 C 地域在住で杉四小に通学している。高円寺学園への進学は保証されるのか？(30. 9. 15 説明会 同意見あり)
- ② B 地域の子は高円寺学園が基本だが、杉三小や杉六小、杉十小への入学も配慮してほしい。(30. 9. 15 説明会 同意見あり)
- ③ 27 年度からの現特例措置をいつまで継続するか、また、平成 32 年度以降も特例措置を適用してほしい。(30. 9. 15 説明会)
- ④ 特例措置の人数制限はあるのか。(30. 9. 15 説明会)
- ⑤ 現在の中学の通学区域は変更せず、特例の指定校変更などで柔軟な対応をしてほしい。(30. 7. 19 懇談会)

新しい通学区域の決定時期

- ① 開校と同時に通学区域を決めるのは危ないのではないか。 (30. 7. 19 懇談会)
- ② 31 年度に通学区域を決めてしまうのではなく、いろいろな動向を見て、その上で徐々に決めて行くのが望ましいのではないか。 (30. 7. 19 懇談会)
- ③ 通学区域を開校前に決めずに、例えば開校後 1 年間、現在の特例措置を継続して、子どもたちの実際の動きをある程度確認したうえで、33 年度に決めるということはないか。 (30. 7. 19 懇談会)

その他

- ① (仮称)高円寺学園は、杉並区に行っている中学校 1 つに対して小学校 2 つという形から外れてしまうことに関してはどう思っているのか。 (30. 7. 19 懇談会)
 - ② 高円寺地区全体を新しい学校の通学区域と考えても良いのでは。高円寺地区の全体を見た通学区域の考え方が大事 (30. 7. 19 懇談会)
- ※現在、杉八小に通学しているが、新校が開校した時点で、杉十小もしくは杉三小への転校は可能か。 (27 年度懇親会)

3 今後に向けた区の考え方について

- ① 特例措置のエリアについては、学校までの距離や地域特性などを考慮した柔軟な対応を取れるよう検討していく。
- ② 特例措置の取扱いについては、(仮称)高円寺学園の 32 年度開校以降の就学実態を一定程度見極める必要性を考慮し、当面の間、継続していく方向で検討する。
- ③ 小中一貫教育の考え方から、指定校変更して在学している小学生は、中学校も引き続き小中一貫校での通学を認めていく方向で検討していく。
- ④ 在校生の転校については認める方向で考えていく。

4 今後のスケジュール

平成 30 年	12 月	31 年 4 月新入学児童生徒への就学通知発送
31 年	2 月	文教委員会へ報告 (素案の決定)
	6 月	第二回区議会定例会において学校設置条例の改正 通学区域規則改正
	7 月	(仮称)高円寺学園新校舎中学部開校